

<日本史探究④⑧> 安土・桃山時代① ~織豊政権~ 教科書:P.138~P.146

1 ヨーロッパのアジア進出

① ポルトガルは、15cになると、インド・東南アジアの特産品である(1. 香辛料)を求めて、15c末にはインドへの航路を開拓した。

② ポルトガルは1510年にインド西部の(2. ゴア)を攻略し、翌年にはマレー半島の(3. マラッカ)も占領し、明の(4. マカオ)を拠点として、アジア貿易を積極的におこなった。

③ (5. 1543)年、中国人密貿易商人の有力者<6. 王直>の船に乗ったポルトガル人が(7. 種子島)に来航し、(8. 鉄砲)をもたらしした。

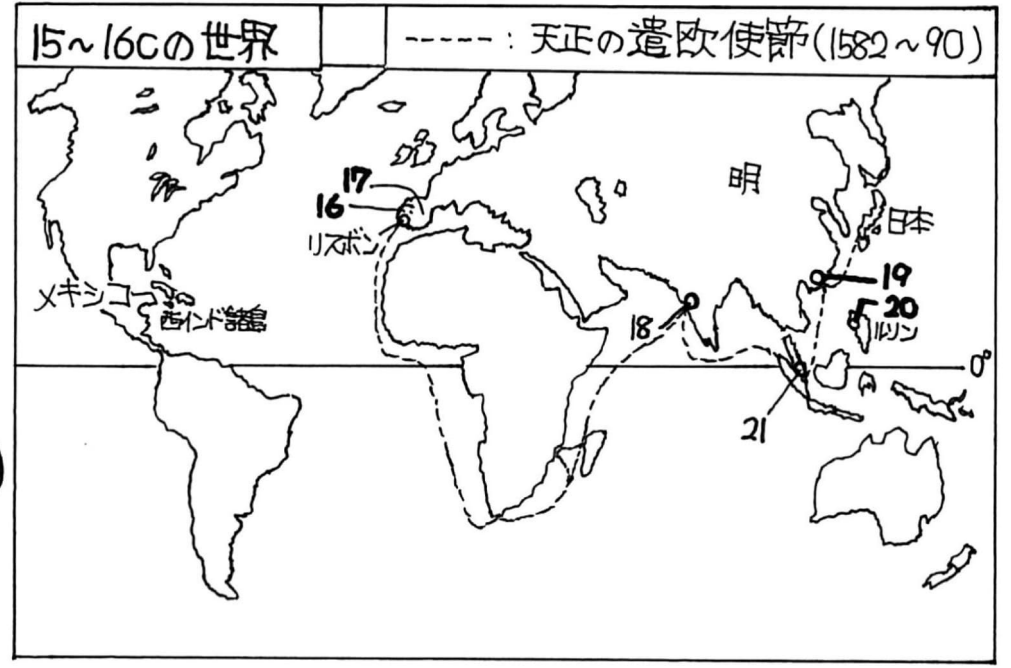
④ 人、護身さ、鉄砲で!

④ 島主の<9. 種子島時堯>は家臣に8の使用法と製造法を学ばせ、その技術は和泉の(10. 堺)や近江の(11. 国友)など各地に広まった。8は戦国大名の戦術を変化させ、足軽隊による(12. 集団戦)の重視、防衛のための山城から、城下町を築く(13. 平山城・平城)へ変化をもたらした。

⑤ スペインはアメリカ大陸から太平洋を横断してフィリピンのルソン島の(14. マニラ)を拠点として、アジア貿易をおこなうようになった。こうしてヨーロッパを中心に世界の諸地域が広く交流する

(15. 大航海時代)が始まった。

⑥ 当時、(22. 石見(大森)銀山)(島根)などで銀が大幅に増産され、日本産の銀が大量に中国に流入した。



(問1)上の地図の16~21に当てはまる国名・地名を答えよう。なお、18~21は領地とした国名も答えよう。

- 16: (ポルトガル)    17: (スペイン)
- 18: (ゴア) ← (ポルトガル)領
- 19: (マカオ) ← (ポルトガル)領
- 20: (マニラ) ← (スペイン)領
- 21: (マラッカ) ← (ポルトガル)領

(問2)ポルトガル人に乗せた中国船が1543年に、どこに来航し、何を伝えたか? 地:(種子島) 伝えた物:(鉄砲)

(問3)灰吹法の導入により銀の生産量が飛躍的に増大した島根県の銀山は? (石見(大森)銀山)

## 2 キリスト教と南蛮貿易

① (1. 1549)年、カトリック系の(2. イエズス会)[2. 耶蘇会]の宣教師<3. フランシスコ=ザビエル>が(4. 鹿児島)に来航し、キリスト教を伝えた。☞以後よく広まるキリスト教

② しかし、4での布教が許されず<5. 大内義隆>の城下町山口で布教を進め、ついで豊後の戦国大名<6. 大友義鎮/宗麟>の城下町府内で、3は6の保護を受けて布教を進めた。

③ 3に続いて、多くの宣教師たちが来日した。特に<7. ヴァリニャーニ>は司祭や修道士の養成をはかり、神学校の(8. セミナリオ)を安土と肥前有馬に、宣教師養成学校の(9. コレジオ)を豊後府内に設けた。

④ また、1582年には、7のすすめで九州の(10. キリシタン大名)の<11. 有馬晴信>・6・<12. 大村純忠>は正使の伊東マンショと千々石ミゲル、副使の中浦ジュリアンと原マルチの4人をローマ教皇グレゴリウス13世のもとに派遣した。この(13. 天正遣欧使節)が1590年に帰国した際に、7は(14. 活字印刷術)を伝えた。

⑤ 他にも、『15. 耶蘇会士日本通信』で堺を「日本の(16. ベニス)」と報告した<17. ガスパル=ヴィレラ>、『18. 日本史』の作者で1563年来日した<19. ルイス=フロイス>や京都に教会の(20. 南蛮寺)や8を建設した<21. オルガンチノ>などが有名である。

↑7と共に

⑥ 明は1560年代末には民間の貿易を認めない(22. 海禁)政策を緩和したが、日本への渡航は認めなかったため、中国南部のマカオに進出していた(23. ポルトガル)人が日中貿易に乗り出し、肥前国の(24. 平戸)など九州各地の港に来航した。

⑦ さらに(25. スペイン)船も来航するようになり、23・25との(26. 南蛮貿易)を開始した。23は貿易に積極的で、日本産の(27. 銀)と中国産の(28. 生糸)を運んだ。この23による(29. 中継貿易)は、日明間の貿易が断絶してる中で日本が28を確保するうえで重要だった。

⑧ 26の輸入品は28の他に、(30. 鉄砲)・(31. 火薬)などで、輸出品は27の他に(32. 刀剣)などであった。入港地は島津氏の鹿児島や(33. 坊津)、大友氏の(34. 府内)、松浦氏の24などだったが、やがて大村氏の(35. 長崎)が最大の貿易港となった。

(問)次の文の正誤を判定しよう。(龍谷大改)

(1)マカオを拠点としたスペインに続いて、ポルトガルも日本との貿易を開始した。 [誤]

(2)南蛮貿易では、ヨーロッパ産の生糸が大量に輸入された。 [誤]

(3)小西行長らキリシタン大名は、天正遣欧使節を派遣した。 [誤]

### ③ 織田信長の統一事業

① 尾張守護代の重臣の家に生まれ、同国を統一して大名となった **<1. 織田信長>** は、(2. 1560)年、**<3. 今川義元>** を **(4. 桶狭間の戦い)** で倒し、三河の徳川家康と同盟を結んだ。

① 1560 桶狭間はさま!

② 1567年には美濃の斎藤竜興を破り、美濃の稲葉山城を岐阜城と改めて本拠を移し、「**5. 天下布武**」の印章を用い始めた。翌1568年には、1は前將軍義輝の弟 **<6. 足利義昭>** を立て京都に上り、室町幕府を再興した。

③ また分国内の **(7. 関所)** で通行料をとることを禁じ、**(8. 検地)** 検地を畿内で行ったほか、畿内の商業・自治都市として栄えていた **(9. 堺)** を直轄化して、**(10. 会合衆)** に兵錢[軍費]2万匁を払わせた。

④ しかし、畿内周辺は1と対立する勢力も多かった。6は、將軍権力の回復を目指して、近江の **<11. 浅井長政>** や **(12. 延暦寺)**、越前の **<13. 朝倉義景>** などと結んだ。そこで1は (14. 1570)年に **(15. 姉川の戦い)** で11・13の連合軍を破り、翌年12を焼打ちし、(16. 1573)年には15代將軍 **<17. 足利義昭>** を追放して、室町幕府を滅ぼした。

① 1570 以後名を失う浅井・朝倉氏!

② 1573 以後ナミダの義昭さん

⑤ (18. 1575)年、**(19. 長篠の戦い)** では、**<20. 武田勝頼>** の騎馬隊を **(21. 足輕鉄砲)** 隊で破り、翌年、近江の琵琶湖畔に天守閣を備えた **(22. 安土城)** を築いた。その城下町を **(23. 楽市)** とする **(24. 楽市令)** を発し、自由な商売を認めた。

☆楽市:市場税・商業税の免除・座商人の特権廃止  
楽座:座そのものの廃止 ※岐阜の美濃加納にも24を発した!

⑥ また1は、一向一揆とも敵対し、1574年には伊勢の **(25. 長島)**、1575年には **(26. 越前)** の一向一揆を鎮圧し、1580年には **(27. 石山本願寺)** の **<28. 織田信長>** を10年におよぶ戦いの末、屈服させた。この10年におよぶ戦争を **(29. 石山合戦)** といふ。

⑦ そして1は (30. 1582)年に20を甲斐で滅ぼし、中国の毛利氏を攻める出陣の途中、**(31. 本能寺の変)** で家臣の **<32. 明智光秀>** に背かれて滅んだ。

(問) 次の文の正誤を判定しよう。(東洋大改)

- (1) 信長は分国内の関所から、莫大な通行料収入を得た。[誤]
- (2) 信長は、長篠の合戦と同じ年に、越前の一向一揆を攻撃して壊滅させた。[正]
- (3) 信長は自治的な商業都市として繁栄していた博多の支配に乗り出した。[誤]
- (4) 信長が楽市令を出したのは、膝下の安土山下町のみだ。[誤]
- (5) 信長は姉川の戦いの後、「天下布武」の印を用い始めた。[誤]

# 4 豊臣秀吉の統一事業

① 光秀と同じく信長の重臣だった<1. 羽柴秀吉>は、本能寺の変当時、毛利氏の備中高松城を攻撃中であつたが、変を知るとすぐさま講和して軍を返し、(2. 山崎の戦い)で光秀を討た。

② 翌1583年、信長の最有力家臣だった<3. 柴田勝家>を(4. 賤ヶ岳の戦い)で破つて信長の後継者の地位を確立すると、(5. 石山本願寺)の跡地に(6. 大坂城)を築いた。

③ ついで1584年、信長の次男<7. 織田信雄>を擁する徳川家康と(8. 小牧・長久手の戦い)で戦つたが講和した。

(9. 1585)年、紀伊を平定した後、1は(10. 朝廷の伝統的権威)を手に入れるため、(11. 関白)に就任した。まもなく長宗我部元親が降伏し、(12. 四国)を平定した。  
1585 以後ハコで四国バク!

④ 11に就任すると、1は(13. 惣無事令)を発し、戦国大名に、戦闘の停止と領地の確定を1に委任させることを強制した。翌年には新しく即位した<14. 後陽成天皇>から豊臣の姓を与えられ(15. 太政大臣)にもなった。  
1587 以後花しむ島津哉

⑤ この13に九州の<16. 島津義久>が抵抗すると、(17. 1587)年に大軍を發し16を降伏させ、(18. 九州)を平定した。九州から帰ると、本拠を6から別荘である京都の(19. 聚楽第)に移し、翌年には14を招き、諸大名に天皇と1人の忠誠を誓わせた。

⑥ 12・18を平定した1は、関東の(20. 北条氏)に降伏を勧めたがこれに20が応じなかつたので、(21. 1590)年、(22. 小田原攻め)を行つて20を滅ぼした。その攻撃中に東北の<23. 伊達政宗>らが1に従い、(24. 奥羽)平定が完了し、天下統一を達成した。

(問1) 次の文章の( )に適切な語句を入れよう。(北海学園大改)  
秀吉は、信長が倒れると、(山崎)の合戦で明智光秀を討つことで主君の敵を討ち、翌年には、(賤ヶ岳の戦い)で柴田勝家を破つて、信長の後継者としての地位を確立した。  
秀吉は軍事力のみならず、伝統的権威を利用する力に長けていた。朝廷では(関白)・(太政大臣)にまで昇り詰め、1588年には(後陽成)天皇を(聚楽第)に迎え、その際に、諸大名に天皇への忠誠を誓わせると同時に、秀吉自身への忠誠を誓わせた。

(問2) 次の文の正誤を判定しよう。(東洋大改)  
(1) 1585年、秀吉は、朝廷から太政大臣に任じられた。 [誤]  
(2) 本能寺の変の翌年、秀吉は明智光秀を討つた。 [誤]  
(3) 1587年、秀吉は、停戦の命令に従わなかつた島津氏を、みづから出向いて降伏させ、九州を支配下においた。 [正]  
(4) 1590年、秀吉は、小田原攻めにより、北条氏と伊達氏の連合軍を降伏させた。 [誤]

# 5 豊臣政権の土地・身分制度

① 豊臣政権の財政的基盤は、(1. 蔵入地)と呼ばれる約20万石の直轄地のほか、京都・堺・大坂などの重要都市を直轄化し、佐渡金山や(2. 石見大森)・(3. 但馬生野)銀山などの鉱山も直轄化し、金貨として(4. 关正大判)を発行した。

② (5. 山崎)の戦い後の山城での検地を皮切りに、秀吉は服属させた地域に、村を単位として(6. 太閤検地)を施行していった。これまでの(7. 指出)検地は、土地から納められる年貢の額で把握する(8. 石高)制だったが、6は土地からとれる米の生産量を把握する(9. 石高)制であった。  
ゴロ 1582 太閤 十五夜にタイコをたたく秀吉さん

③ また面積や容積の単位を統一し、(10. 京枡)を基準とした。1段を360歩から(11. 300)歩に狭めて、田畑・屋敷地に上・中・下・下々などの等級をつけ、それぞれの(12. 石盛)[1段あたりの米生産高]を定めた。  
と例えば、上田1段は1石5斗

④ 12に面積を掛け、土地全体の米生産高である(9. 石高)を決めた。一区画の土地の耕作者を、一人の百姓に定める(13. 一地一作人)の原則に基づいて、(14. 検地帳)に登録し、耕作権を認める一方、年貢の負担を義務づけた。

⑤ こうして、領主は百姓を一括で支配でき、一つの土地に何人もの権利が重なり合う状態を整理したので、(15. 荘園公領制)が解体される結果となった。

⑥ 村の総石高である(16. 村高)に年貢を課す(17. 村請制)が実現し、村単位で年貢を納入することになった。なお当時の年貢率は(18. 二公一民)であった。そして、9を基準にして秀吉は大名に知行[土地の支配権+年貢の徴収権]を与え、9に応じた軍役を負担させる(19. 大名知行制)の基礎ができた。\*18=3分の2

⑦ (20. 1588)年、秀吉は一揆を防止し、農民を耕作に専念させるために、(21. 刀狩令)を出し、当時建立中の(22. 芳広寺)大仏の釘の原料とすることを口実に、農民から武器を没収した。

⑧ 秀吉は天下統一の翌1591年、(23. 身分統制) ゴロ 1588 以後ババ、刀禁止! 令を出して、武士が農民・町人になることや、百姓が町人になることを禁じた。同年、秀吉がおいの(24. 豊臣秀次)を養子にして関白を譲ると、翌1592年、24は(25. 人掃令)を出した。

⑨ この25は、同年に始まった(26. 朝鮮出兵)に動員する人員を確保するため、身分別に家数・人数を調査させた。こうした6・21・25などの政策によって、職業に基づく身分が定められ、武士・奉公人と百姓との身分の分離(27. 兵農分離)が徹底された。

※身分統制令(23)と人掃令(25)について-----  
どちらも人掃令とされることがあるが、1591年の身分統制令には「人掃」ということばは出てこない。どちらも朝鮮侵略に備えたもので、結果として兵農分離が確立するきっかけとなった。なお、1592年令で新入者の追放を命じており、これが「人掃い」といわれた。

(問) 次の文を読み、下記の問に答えよう。(北海学園大改)

豊臣政権の経済的基盤は莫大な(ア)にあり、(イ) 主要な 鉱山をも支配下に置いていた。豊臣政権の中心的な政策は、検地と兵農分離であった。この検地は(ウ)と呼ばれ、検地および兵農分離に関する(エ) 法令 が複数発せられた。

(1) (ア)に入る、約200万石の直轄地のことを？ (蔵入地)

(2) 下線部(イ)に含まれないものを下から選ぼう。(別子)  
< 佐渡・石見大森・但馬生野・別子 >

(3) (ウ)に入る語を漢字4字で答えよう。(太閤検地)

(4) (3)の説明として誤っているものを下から選ぼう。 [ D ]

- A. 土地の面積表示を町・段・畝歩に統一した。
- B. 用いる枡を京枡に統一した。
- C. 村ごとに田畑・屋敷地の面積、等級を調査してその石高を定めた。
- D. 領主に対し検地帳と国絵図の提出を命じたことから、指出検地とも呼ばれる。

(5) 下線部(エ)について、次のA・Bの条文が記されている法令をそれぞれ答えよう。A: [ 刀狩令 ] B: [ 身分統制令 ]

- A. 右取を<sup>とり</sup>がるべき刀、脇指、ついでにさせらるべき儀に<sup>わきさし</sup>あらず候の間、今度大仏御建立の<sup>おの</sup>釘、かすかひに<sup>おの</sup>仰せ付けらるべし。
- B. 在々百姓等、田畠を<sup>う</sup>打捨、或はあきない、或は賃仕事<sup>ちん</sup>ニ罷<sup>ま</sup>出る輩之有らば、そのもの事ハ申すに及ばず、<sup>じ</sup>地下中御成敗...

## 6 豊臣政権の外交政策

① 秀吉は信長と同じく、当初、キリスト教の布教を認めていたが、<sup>藤懸</sup> < 1. 大村純忠 > が長崎をイエズス会に寄附していることなどを知ると、(2. 1587)年、九州平定(四)後の博多で(3. バレン 追放令)を出した。 人ごほんないとバレン!

② これにより宣教師に(4. 20)日以内に帰国することを命じたが、キリスト教信仰そのものを禁止したわけではなく、貿易も奨励したため、宣教師の追放は徹底しなかった。

③ しかし、1596年、スペイン船の(5. サン=フェリペ号)が土佐に漂着した際、「スペインは宣教師を領土征服の手先に行っている」と船員が失言した(5. サン=フェリペ号)事件が起こった。そのうち、秀吉はスペイン系の宣教師や信者あわせて26人を捕らえて長崎で処刑した。これを(6. 26<sup>聖</sup>人<sup>殉</sup>教)という。

④ 1551年から勘合貿易が断絶した後、再び倭寇が活発になった。このときの倭寇は中国人中心の後期倭寇と呼ばれるもので、秀吉はその禁圧と貿易をさかんにするため、(7. 1588)年、(8. 刀狩令)と同日に(9. 海賊取締令)を出した。

⑤ 1592年には、海外への渡航船に朱印状を交付する(10. 朱印船)制度を制定した。ただ実際に始めたのは徳川家康で、貿易が本格化するのは江戸時代からである。

⑥ 武威を誇る秀吉は早くから大陸侵攻の意志を示していたが、九州を平定すると対馬の宗氏を通して、朝鮮国王に服属と来日を求め、さらにゴアの(11. ポルトガル)政庁、フィリピンのマニラの(12. スペイン)政庁、(13. 高山国)と呼ばれた台湾などにも同様の要求をした。

⑦ 朝鮮は1590年に日本統一を祝う使節を派遣してきたので、秀吉は明征服の先導を求めたが、朝鮮はこれを拒否した。すると秀吉は1591年に出兵の本拠地として肥前に(14. 名護屋)城を築いた。

⑧ (15. 1592) [(16. 文禄)元]年には、九州へ出向き、<17. 加藤清正>・<18. 小西行長>らが率いる約16万の兵を朝鮮に送り込んだ。

⑩ 異国にブーン、ロックだぜ!

⑨ この(19. 文禄の役) [朝鮮では壬申倭乱]では、はじめは日本軍が優勢だったが、<20. 李舜臣>の率いる朝鮮水軍や明の援軍によって日本側は劣勢となり、和平交渉が開かれた。

⑩ しかし、秀吉の主張と明の姿勢ががみ合わずに交渉が決裂すると、(21. 1597)年、再び朝鮮に出兵した。この(22. 慶長の役)では最初から苦戦を強いられた。

⑩-1 一番酷な慶長の役

⑪ 翌年に秀吉が死去すると、その直前に定められていた(23. 五大老)・(24. 五奉行)が軍勢を撤退させた。その際諸大名は、朝鮮の陶工・学者を連行した。2度の侵略で朝鮮に多大な被害を与えた一方、膨大な戦費と兵力を費やしたため国内でも不満がつのり、豊臣政権を衰退させることになった。

※ 23 = <25. 徳川家康>・<26. 毛利輝元>・  
<27. 前田利家>・宇喜多秀家・上杉景勝  
小早川隆景

24 = <28. 石田三成>・<29. 浅野長政>・  
増田長盛・前田玄以・長束正家

(問) 次の文の正誤を判定しよう。(東洋大改)

(1) 秀吉は、大村純忠が長崎をイエズス会に寄進していることなどを知って警戒を深め、バテレン追放令を出した。 [正]

(2) 秀吉は、肥前に名護屋城を築いて、朝鮮出兵の根拠地とし、また甥の秀次に聚楽第と関白職を譲った。 [正]

(3) 秀吉は、朝鮮国王やマニラのスペイン政庁などに服属を求めたが、高山国には、そうした要求をしなかった。 [誤]

(4) 文禄の役では、日本軍は、漢城(ソウル)をおとしけるなど、当初は優勢であったが、朝鮮軍の抵抗と明の援軍により、日本軍の侵攻は行き詰まった。 [正]